

面積: 180,533平方キロ

(日本の本州の約4/5) (全米50州中21位)

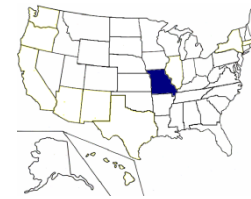
人口: 6,270,541人 (2025年国勢調査) (全米18位)

(白人82%, 黒人12%, ヒスパニック6%, アジア3%)

(2025年国勢調査)

州都: Jefferson City 愛称: Show-Me State

# ミズーリ州概要



令和8年3月現在  
在シカゴ総領事館

## 政治

### 【州政治】

- 知事: マイク・キーホー(Mike Kehoe) (共)  
2025年1月就任、現在1期目
- 議会構成: 二院制  
上院議席数 34 民主党10 共和党 24  
下院議席数163 民主党52 共和党106  
空席 5
- 内政状況:  
1904年から2004年の間は、同州の大統領選挙の結果が本選挙の結果に合致していたためスウィング及び「ベルウェザー(趨勢を表す)」州として知られていた。しかし、2018年選挙では連邦上院議席が民主党から共和党に移り、それ以降は強固な共和党支持と変化している。2024年選挙でも共和党が勝利し、共和党の優勢をあらためて示した形となった。  
2024年の州知事選挙では、パーソン前知事の下で副知事を務めたキーホー候補が当選した。  
パーソン前知事は、2021年6月に、連邦政府レベルの銃規制に関する法を州内では無効にできるとする州法に署名。同州法は、連邦裁判所によって違憲の判断が下されている。

### 【連邦政治】

- 大統領選挙人数: 10名
- 2024年大統領選挙における勝利政党:  
共和党(得票率約58.5%)
- 連邦上院議員  
エリック・シュミット(Eric Schmitt)(共)  
ジョシュ・ホーリー(Josh Hawley)(共)  
※本年中間選挙での改選なし。
- 連邦下院議員(議席数8名)  
民主党2名 共和党6名

## 経済

### 【州経済】

- 主要産業: 不動産、製造業(化学、食料)、金融  
・農業: 穀物(大豆、豚肉)<sup>\*1</sup>
- GDP: 4,737億ドル(2025年)<sup>\*1</sup>
- 1人当たり個人所得: 68,061ドル(2025年)<sup>\*1</sup>
- 失業率: 3.9%(2025年12月)<sup>\*2</sup>
- 輸出額: 18,676百万ドル(2025年)<sup>\*3</sup>
- 主要輸出品目: 輸送用機器、化学製品、一般機械、加工食品、鉱物・鉱石<sup>\*3</sup>
- 輸出相手国(2025年)<sup>\*3</sup>  
カナダ(31%)、メキシコ(23%)、イスラエル(4%)、ドイツ(4%)、インド(3%)、ブラジル(3%)、日本(3%) で7位
- 財政: (2023年度)<sup>\*3</sup>  
歳入: 45,074百万ドル  
歳出: 44,359百万ドル  
債務残高: 7,032百万ドル
- 経済状況  
米国中西部の穀倉地帯の一角を占め、トウモロコシ、大豆、肉牛、養豚等の農牧業が盛ん。セントルイスには、トウモロコシ(NCGA)と大豆(ASA)の生産者団体の全米本部がある。また同市には、パドワイザーで有名なアンハイザーブッシュ社が本社を置いているが2008年にベルギーのインベブ社に買収された。

### 【対日経済】

- 対日輸入額: 335百万ドル(2025)<sup>\*1</sup>
- 主要輸入品目: 一般機械、化学製品、金属製品、電子電算機器、輸送用機器<sup>\*1</sup>
- 対日輸出額: 473百万ドル(2025年)<sup>\*1</sup>
- 主要輸出品目: 加工食品、化学製品、一般機械、印刷物、電子電算機器<sup>\*1</sup>
- 日系企業の進出数/雇用数:  
138事業所/12,064人(2025年)<sup>\*4</sup>
- 州駐日事務所あり(東京都)

出典: 1: Bureau of Economic Analysis, 2: Bureau of Labor Statistics, 3: U.S. Census Bureau, 4: Consulate-General of Japan in Chicago

## 日本との関係

### 【要人往来】

(往) 04年9月 ホールデン知事が日米中西部会出席のため、23年10月 パーソン知事が投資ミッションのため訪日。  
(来) 94年 天皇皇后両陛下御来訪。03年8月 有馬参議院議員(元文部大臣)がセントルイス及びカンザスシティ来訪。14年 阿部長野県知事が姉妹州県50周年を記念し来訪。20年2月 木原総理補佐官が来訪。24年10月 金子諏訪市長来訪。

### 【文化・広報関係】

セントルイス日米協会が活発に活動(1967年創設)。  
セントルイスにあるミズーリ植物園内に北米最大の日本庭園「清和園」があり、1994年の天皇皇后両陛下御訪問の際のお手植えの楓がある他、毎年9月初旬に日本祭が開催され数万の来場者で賑わう。  
2012年の日米桜寄贈100周年記念事業では、セントルイス市とカンザスシティ市に苗木を寄贈。カンザスシティ市には、ルースパーク内に日本庭園と茶室がある。  
2025年は長野県との姉妹州県提携60周年。

### 【日本人学校・補習校数】

補習校1校(セントルイス)

### 【姉妹州県・都市関係(8)】

長野県—ミズーリ州  
倉敷市(岡山県)—カンザスシティ  
諏訪市(長野県)—セントルイス  
東村山市(東京都)—インディペンデンス  
伊勢崎市(群馬県)—スプリングフィールド  
白山市(旧松任市)(石川県)—コロンビア  
新発田市(旧紫雲寺町)(新潟県)—セントジェームズ  
会津若松市(旧河東町)(福島県)—リーサミット

### 【名誉領事】

スティーブン・B・ナップ(セントルイス)  
ジェームズ・サトシ・カンキ(ミズーリ州カンザスシティ及びカンザス州カンザスシティ)